



大埔の丘から

令和4(2022)年9月1日 Sep 1st 2022



香港日本人学校大埔校 校長 渡辺 真也

本日から無事2学期をスタートすることができました。2学期も香港政府教育局の指示に沿いながら授業や学校行事を進めていきます。大埔スポーツフェスティバルの練習や水泳授業なども始まる予定です。心と体を鍛える一番良い時期ですので、子どもたちがうんと成長できるように教職員一同努力してまいります。

トラブルに対応する力

日本にいる頃、中学校の先生方と懇談をしたときに、小学校と中学校では子どもの扱い方が全く違うことに驚きました。小学校では、子どもたち同士が仲良く活動できるように、なるべくトラブルを起こさないようなグループ編制にすることを優先します。教室の座席決めやグループ決めの時に先生方が一番心を砕くことはこのことです。

ところが、中学校ではトラブルが起きることは想定内と考えて編制するのだそうです。トラブルが起きるとそれをチャンスととらえ、「どうすればよいのか?」と、その子にトラブルを解決させる力を身に付けさせるそうです。人間関係づくりがうまくできない子は、当然たびたびトラブルを起こしますが、その都度自分の行動を振り返らせ、解決する力を身に付けさせるので、次第に誰とでもうまくできるように成長していくそうです。

しかし、近年それがうまくいかないようになってきたと言うのです。それは、子ども本人にトラブルに対応する力を身に付けさせる前に、大人が先回りして問題の解決を図ってしまわなければならないようになってきたからです。確かに、トラブルをいじめに発展させないために、学校も保護者も小さなトラブルを大問題として扱わざるを得なくなってきました。大人がいじめをなくそうとすればするほど、子どもにトラブルに対応する力を身に付けさせる機会を失っていくとは皮肉なことです。

以前、講演会で「学校は子どもが人と人との折り合いをつけることを学ぶ場所です。これは実体験を通してしか学べないことです。大人が介入しすぎると子どもが育たなくなります。」という話を聞いたことがあります。集団で生活しているのですから、小学校でも小さなトラブルは必ず起こります。先生方は「どうやったら解決できる?」、「どうしたら同じトラブルを繰り返さない?」と子ども本人に対応する力を身に付けさせようとしています。子どもは何度も失敗を繰り返しながら大人になっていきます。

大埔っ子はどうでしょうか。とても素直にまっすぐに成長してきている子どもたちだと感じます。しかし、逆に言うと自分の欲求を心の中に押さえつけ、我慢し続けている子どもだとも言えます。学校で取っ組み合いのケンカをする姿はまだ一度も見えていません。それはそれで良いことなのですが、いざトラブルが降りかかってきた時に対応する力はあるのかな、と少し心配です。

9月 行事予定

行事予定は今後変更する場合があります。詳細・変更は「学級だより」「連絡帳」等でご確認ください。

日	曜	学校・学年行事	下校時刻
1	木	始業式 短縮日程	12:30
2	金		15:30
3	土		
4	日		
5	月	児童集会 専科開始	15:30
6	火	大埔あそび	15:30
7	水		15:30
8	木	授業参観（2～4校時）学年学級懇談会（午後）	12:30
9	金		15:30
10	土		
11	日		
12	月	中秋節翌日	
13	火		15:30
14	水	身体測定①	15:30
15	木	短縮日課 香港校教職員と合同研修会	12:30
16	金	身体測定② 出前授業（3年）	15:30
17	土		
18	日		
19	月		15:30
20	火	予防接種（4種混合）	15:30
21	水	通班集体会 下校指導（職員バス同乗）	15:30
22	木	委員会（写真撮影）交流授業（3年）	P1P2 12:30 P3-P6 15:30
23	金		15:30
24	土		
25	日		
26	月		15:30
27	火		15:30
28	水	短縮日課（6時間目まで）	15:10
29	木	クラブ（写真撮影） 校外学習（3年）ヤクルト工場	P1P2 12:30 P3-P6 15:30
30	金		15:30